

東芝ライテック(株)今治事業所 サイトレポート情報

所在地	: 愛媛県今治市旭町5-2-1
敷地面積	: 31,593m <sup>2</sup> 、建家面積: 15,647m <sup>2</sup> 、緑化率25.2%
設立	: 1950年5月、従業員: 366人(2014年3月現在)
主要製品	: 自動車用光源、情報機器用光源、産業機器用光源
ISO14001認証取得	: 1998年7月、最新更新年月: 2011年10月 (ISO認証番号: EC99J2026)



ごあいさつ

東芝ライテック(株)今治事業所は、瀬戸内海のほぼ中心部に突出した高縄半島の先端に位置する今治市で事業を展開しています。自動車用光源、情報機器用光源、産業機器用光源などの「光」製品を世界に提供しています。事業活動における環境負荷低減活動、環境調和型製品の創出を推進し、社会に貢献しています。また、従業員による地域清掃活動、廃棄物のリサイクルなど環境保全活動に注力しています。



環境管理責任者 野口英彦

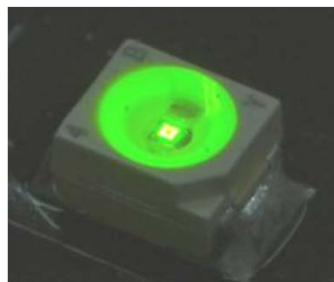
2013年度の環境の主な取り組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
  - ・2013年9月に東芝ライテック(株)として拡大統合認証取得
- ☆環境保全体制の充実
  - ・法令、条例の順守
- ☆エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減
  - ・生産高原単位前年2%削減目標(目標146.0t-CO<sub>2</sub>/億円 実績160.7t-CO<sub>2</sub>/億円)
  - ・大型空調機の更新 ・管理強化による節電実施
- ☆廃棄物排出量の削減
  - ・総発生量生産高原単位前年2%削減目標(目標3.73t/億円 実績2.78t/億円)
  - ・廃棄物最終処分率0.3%以下目標(実績0.19%)
- ☆化学物質取扱量の削減
  - ・酢酸ブチル取扱量年6.9t以下目標(実績3.72t)
- ☆全員参加・啓発活動の展開
  - ・環境月間・3R月間・省エネ月間による環境啓発活動
- ☆地域とのコミュニケーション
  - ・構外美化活動
  - ・絶滅危惧種の保護、育成

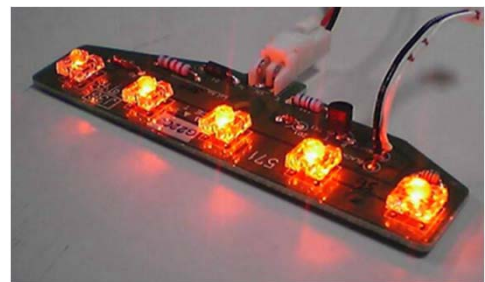
製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



水銀フリー自動車用HIDランプ



高輝度LEDパッケージ  
O<sup>2</sup>PERA



車載用LED光源モジュール

## 環境方針

### 東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝コミュニティー・ソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

#### 2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

#### 3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

#### 4. 東芝ライテック株式会社はスマートコミュニティー事業を通して、環境配慮都市の構築に貢献します。上記東芝グループ方針に加えて当社の事業分野である、照明商品、照明システムの製品開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティー社会実現を目指した環境経営を推進します。

- (1) 環境調和型製品（ECP）、さらには業界トップの環境性能を誇るエクセレントECPの創出・普及により、製品やシステム全体における省エネルギー、資源有効活用、有害化学物質削減を推進します。
- (2) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電力、天然ガス等の使用量を削減し、CO<sub>2</sub>排出量を抑制します。
- (3) 水質・騒音等にかかわる施設について、管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めます。
- (4) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
- (5) 地域社会と連携し、各生産拠点で生物多様性に向けた環境活動展開し、自然との共生を図ります。

2014年6月24日

東芝ライテック株式会社  
取締役社長

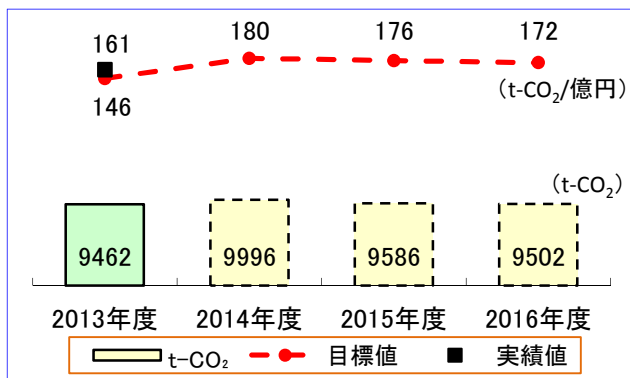
掛斐洋一

環境目的・目標

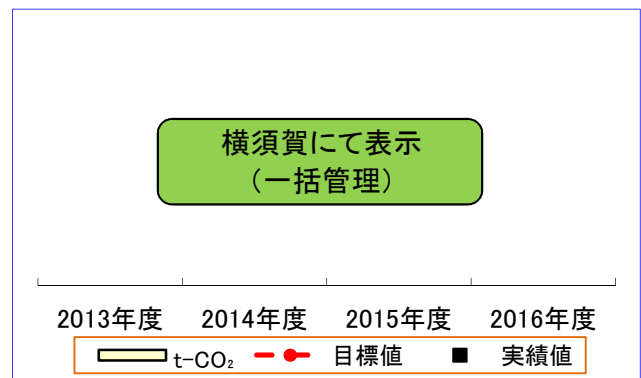
取組み項目		2014年度	2015年度	2016年度
地球温暖化防止	エネ起源CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	180	176	172
	物流CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	—	—	—
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	3.0	3.0	2.9
	最終処分率の管理(%)	<0.5	<0.5	<0.5
	水受入量原単位の改善(千m <sup>3</sup> /億円)	2.02	1.98	1.94
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	0.175	0.173	0.171
生物多様性	生物多様性の推進	希少種の保護・観察	パフォーマンスの向上	パフォーマンスの向上

環境負荷データ

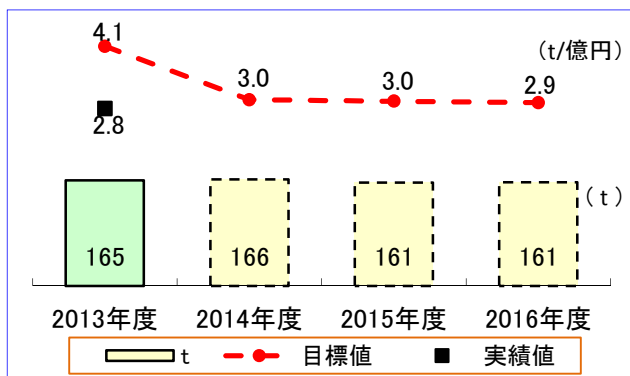
エネ起源CO<sub>2</sub>



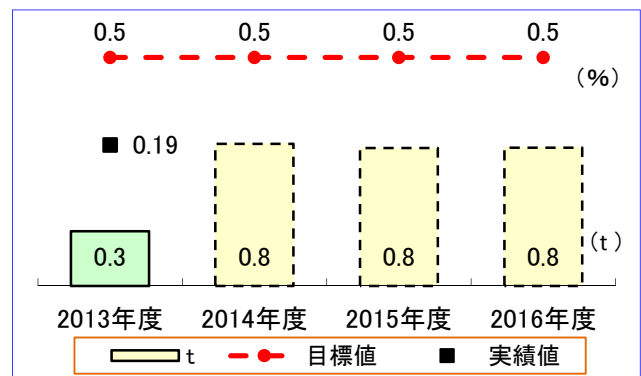
物流CO<sub>2</sub>



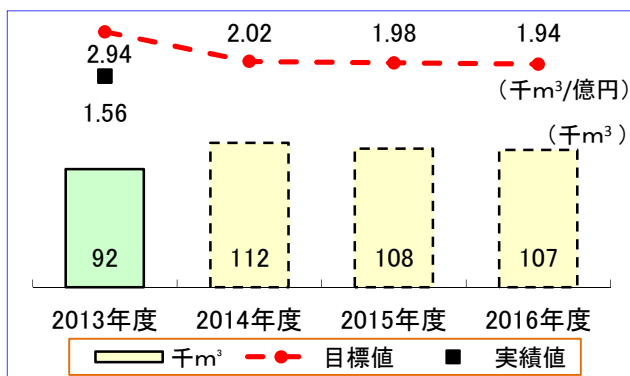
廃棄物総発生量



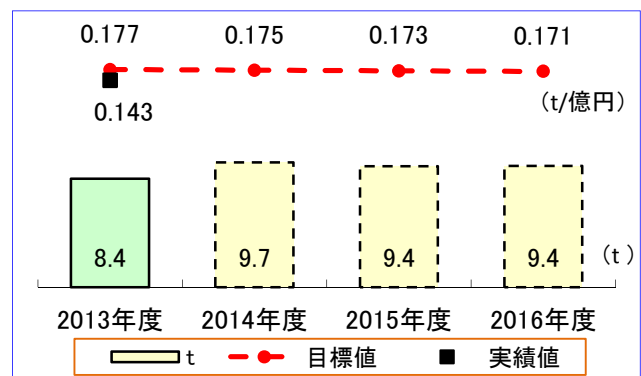
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量





## コミュニケーションの紹介

### <環境一斉アクション>

6月5日の環境の日に合わせ東芝グループグローバルで一斉に実施した「環境一斉アクション」に参加し、事業所の看板を消灯実施しました。また従業員に家庭での消灯呼びかけを実施しました。

(実施概要)

- ・日時:2013年6月5日 19:30-20:30
- ・事業所の広告看板消灯(4.75kwhのCO2削減)



### <LED工作教室の実施>

地域とのコミュニケーションの一環として日本照明器具工業会に協賛し、地元小学生を対象にLED工作教室を実施しました。

(実施概要)

- ・日時:2013年12月19日
- ・場所:松山立垣生(はぶ)小学校
- ・主催:日本照明器具工業会



### <えひめ環境活動フェア出展>

愛媛県主催の「えひめ環境活動フェア」にて、当事業所の生物多様性取り組みについて、今治市ブースにパネル展示をしました。

(実施概要)

- ・日時:2014年1月25日
- ・場所:松山市 大街道商店街アーケード内



### <クリーンアップ活動>

当事業所では、毎年、事業所周辺の清掃活動を実施しています。

当日は事業所を出発点に沿道の美化を行いました。今後も地域活動の一環として、継続していく予定です。

(実施概要)

- ・日時:2014年2月12日
- ・参加人数:33名



生物多様性の取組み

指標種の選定

2003年の調査で絶滅とされていた「トチカガミ」の自生が今年(2013年)に今治市内の池で確認され、NPOから保護の提案があった。NPOと協議の結果、「デンジソウ」と「トチカガミ」を指標種に選定。

指標生物	指標生物の希少性
トチカガミ	愛媛県カテゴリー: 絶滅 (EX)
デンジソウ	愛媛県カテゴリー: 絶滅危惧 1B類

デンジソウ



トチカガミ



構内育成の概要

<移植直後の状況>

2013年10月構内に移植し、保護・観察を開始。

トチカガミ



デンジソウ



<2013年12月生育状況>

移植後、順調に生育中。

トチカガミ



構内



自生地

殖芽への移行→越冬状態へ

※トチカガミは冬季には葉が枯れて殖芽(冬を越す芽)で冬を越す。

デンジソウ



構内



自生地

順調に根付く